

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
大谷川の土砂堆積について	台風15号の大雨により大谷川が氾濫し、一部では浸水もあった。土砂の堆積があり、確認して取り除きをお願いしたい。	現場確認を含めて、今後の対応を御連絡します。	豪雨後、土砂撤去を行っています。	建設課
人口減少対策について	人口減少の要因として、働く場が少ないために若者が外へ出て行き、あわせて高齢化も進んでいると思う。その対策として企業誘致もひとつではないか。もちろん企業にもいろいろと考えがあると思うが、多少のリスクを負ってでも宇和島をアピールして対応してはどうか。一次産業だけでは難しいと考える。映画館、ボウリング場などの娯楽施設もなく、東中予に比べて賃金も低いように思うが。	<p>有効求人倍率が増えていると言われていますが、労働力人口そのもの（分母）が減っていることを考えると、少し疑問に思うところもあります。企業誘致については、どのような企業にお声がけをさせていただくのかも重要なことです。企業誘致の好事例として紹介させていただきますが、三間地区に誘致させていただいた『源吉兆庵』については、雇用を増やすというだけでなく、この地域の産物を使った製品を製造していただいているという点で、大きな意義があると思っています。また大浦埋立地においても同じように、地域の産物（水産物）を使っただけの企業等にに来ていただけることを期待して進めているところです。</p> <p>一方で、働きたいと思う気持ちはあるがその働き口がないというミスマッチが起こっているのも事実です。企業においても人材の集約とあわせて、安定した労働力があるところに目を向けるようになっていきます。一度外に出た人材がまた戻って来られるような、また市外の企業が本市に目を向けていただけるような地道な取り組みを継続していきたいと思えます。</p>	-	商工観光課

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>県道の拡幅工事について</p>	<p>県道37号線（国延・網代・面浦）が狭い。活魚者も走行し、子供たちへの安全面も心配している。地域からも陳情している。県の対応ではあるが、市からも強力な働きかけをお願いしたい。</p>	<p>県へお伝えします。</p>	<p>—</p>	<p>建設課</p>
<p>津波避難所について</p>	<p>下灘地区も含め海岸部において、一次の避難場所はあるが、二次的な津波の避難所がない。早急に対策をお願いしたい。</p>	<p>災害時には、まずは「自らの命は自らが守る」ということで一次避難をしていただくことが重要です。避難場所やその避難ルートについても、地域の実情にあったものに改善していくことは必要だと思います。（大規模災害に備えて）全てを完全なものにすることは難しいと思いますが、担当課にて改めて確認するようにします。</p>	<p>学校等の校舎の上層階が津波被害を免れた場合には、避難所として活用できる可能性があると考えています。また、自主防災組織等で補助金を活用して、キャンプ用テントを多数購入している地域もありますので、御検討をよろしくお願いします。</p>	<p>危機管理課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
避難場所までのルート整備について	<p>子供たち（保育園、小学校）の安全確保にあたり、各避難場所までのルート整備（行きやすいように草刈等）をお願いしたい。</p> <p>また、津島中学校（寮を含む）については、宇和島道路も避難場所としているのか。</p>	<p>災害時には、まずは「自らの命は自らが守る」ということで一次避難をしていただくことが重要です。避難場所やその避難ルートについても、地域の実情にあったものに改善していくことは必要だと思います。（大規模災害に備えて）全てを完全なものにすることは難しいと思いますが、担当課にて改めて確認するようにします。</p>	<p>津波避難路については、地域の皆さんに維持管理の御協力をお願いしています。市では、「津波緊急避難路等整備事業補助金」補助率2／3、上限100万円や、今年度、自主防災組織等が行う防災活動等の経費に対する「自主防災組織等防災活動補助金」補助率1／2（世帯数により上限有り）を新設していますので御活用をお願いします。詳しくは、危機管理課まで御相談をお願いします。</p> <p>H26.9.29に提出されている「津島中学校南海トラフ地震防災対策計画」では、宇和島道路は避難先になっていません。また、現在は、実動の避難訓練等を実施しながら津波避難場所の改善を行っているとのこと。</p>	危機管理課

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
避難場所の指定について	<p>一次避難場所とされているところが山道をあがるところで、足腰の弱い方は登れないところである。改めて現場の把握、確認をお願いしたい。また、設置された階段が、段差が高く苦勞するところもある。</p>	<p>災害時には、まずは「自らの命は自らが守る」ということで一次避難をしていただくことが重要です。避難場所やその避難ルートについても、地域の実情にあったものに改善していくことは必要だと思えます。（大規模災害に備えて）全てを完全なものにすることは難しいと思えますが、担当課にて改めて確認するようにします。</p>	<p>津波避難路の改善については、地域の皆さんの御協力をお願いしています。「津波緊急避難路等整備事業補助金」補助率2／3、上限100万円、とその地域負担分の1／3に地域づくり交付金を充てることも可能ですので、地域の状況等に応じた避難路の改善に御協力を頂きますようよろしくお願い致します。補助金の詳細については、危機管理課へ御相談をお願いします。</p>	<p>危機管理課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
バスの便数について	<p>(尻貝地区含め) バスの便数が減っており、ときに子供たちの通学にも影響が出ている。例えばコミュニティバスなどでの対応はできないか。</p>	<p>5月31日をもって、由良半島（愛南町側）における民間路線バスの運行が終了します。その対応として、本市においては（現在、由良半島で運行している）コミュニティバスを延伸することを決定しました。民間バス会社では、運転手の確保が難しくなってきたりなど様々な課題を抱えており、今後もバス路線の維持に苦慮されると伺っています。該当路線におけるコミュニティバスの運行については、現在運行されているバス便との兼ね合いもありますので、すぐに対応することはできませんが、今年度、地域公共交通網計画について協議を進める中で、市としては公共交通手段の確保については引き続き検討していきます。</p>	-	企画情報課

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
キャリア教育について	<p>人材の確保（市内高校への進学並びに地元の仕事（職場）に、子供たちの目を向けさせ、興味を繋げる）という観点から、子供たちに対するキャリア教育について、どのような考えをもっているか。</p>	<p>私たちの地域の子供たちに「自分がどのような仕事をしたいか」を考えてもらい、また、地域への愛郷心を持ってもらうために、更には地域の問題を子供たちの目線で、柔軟な発想で考える機会を提供できるキャリア教育、職業教育を地道に繰り返し実施していくことが大切であると考えています。もちろん、地域の皆様にも御協力をいただくことがあると思いますので、よろしくをお願いします。</p>	-	学校教育課
公民館のあり方について	<p>公民館運営審議会に関わっているが、公民館活動に面白みがないと感じる。例えば、カフェ、レストラン、コンビニ、居酒屋などの、人が集まる場所としての対応はできないか。</p>	<p>公民館が生涯学習、社会教育を目的とした施設であり、その制約の中で「対応できること、対応できないこと」は、当然にありますので御理解ください。人が集まる場として、施設の活用や地域活動を考えることは大切であると思います。</p>	<p>公民館が、人が「集う」場所であるために、「カフェ」的な場所を提供する取組を始めた館もあるようです。公民館に御相談ください。</p>	生涯学習課

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>防災意識について</p>	<p>新聞記事にもあったが、南海トラフ地震による被害が、恐ろしいほどのレベルで予想されている。</p> <p>日頃の防災に関する意識をもっと高めることが重要であると思うが。</p>	<p>個人が必要とする備蓄物資の量は、以前の基準よりも多くなっているという事実があります。これは、広範囲に渡る大規模災害が発生した場合に、なかなかその対応ができない（救助に來れない）ということの意味しているものだと思います。本市では全市民の2日間の食糧を確保しているところではありますが、それを置く場所は大丈夫なのかというお声もあります。</p> <p>一方で、県の取り組みの中でも防災士の資格を取ることを推奨してはいますが、資格を取られた方々との連携がまだ十分に確立されていないこともありますので、消防団との連携も含めて、自主防災組織をさらに実効性の高いものにする必要もあると考えています。全てにおいて万全な対応をすることは不可能ですが、個人（自助）において、また、地域（共助）において、高い防災意識を持ち続けることと併せて、まずは、自らの命は自らが命を守る（一次避難の）ための訓練等も引き続きお願いしたいと思います。</p>	<p>御意見のとおり、市民の皆さま一人一人が自らの事と考えて頂き、防災に関する意識を高めて頂くことが重要だと思います。そこで、市では防災出前講座を地域の御要望に応じて実施していますので、御活用をお願いします。詳しくは、危機管理課へ御相談をお願いします。</p>	<p>危機管理課</p>

平成30年度 タウンミーティング

日時：6月11日（月）19：00～20：30

場所：北灘公民館

参加者：75名

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
県道への対応について	県道（下波津島線）での各種対応をお願いしたい。（落石、土砂の撤去など）	改めて県にお伝えします。	-	建設課
タウンミーティングの開催等について	来年も実施するのか。また、いろいろと出された要望等について、その後の状況を知りたい。	今回が就任後初めての開催でもありますので、開催時期や手法についての検証なども含めて、今後の開催については考えたいと思います。タウンミーティングの場でしか市民の皆様からの御意見・御提言をお受けしないということではなく、市民の皆様の声が届きやすい広聴環境をつくっていきたいと思います。	いただきました御意見等への回答（フィードバック）については、公民館への掲示や市ホームページへの掲載を順次行うこととしています。なお、御意見に対しての補足説明の調整や現場確認等でフィードバックまでにお時間をいただきますが、御理解いただきますようお願いいたします。	市長公室
河川のごみ対策について	雨（台風）の時期になり、岩松川からのごみが（葦も）流れてくる。以前は補助もあり地元漁協等でごみ拾いなどの対応をしたこともあった。何か対策をお願いしたい。	改めて県にお伝えします。	-	建設課

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
職員の接遇について	接遇への教育を実施してほしい。	市職員各々で、「意識の高さ」あるいは「知識、価値観」などに相違があると思います。応対する職員は、その時々で決して市民の皆様にご不快な思いをさせるといった認識はなかったとは思いますが、市職員として当然求められる適切な接遇能力を身につけられるよう、私も含めて努力していきたいと思っております。	接遇の研修については、新規採用職員や若手職員等を対象に実施してまいります。今後も継続して研修を実施し、接遇の向上に努めたいと考えています。	総務課
市政について	合併後、一部では合併をしなかった方がよかったのではないかとのお声もある。広域的要望がなかなか市政に届かなかった面もあるように感じるが、タウンミーティングのような場を持ってもらいたい。（市政が身近になった気がする）今後も市民の声を市政に届けてもらいたい。	宇和島市の市道をすべて繋ぎ合わせると、その延長は宇和島市から岩手県に届く距離になります。（タウンミーティングで各地を回りながら）そのくらい宇和島市は広いと改めて感じました。御要望を頂いても、予算等の制約もあり、全てに行き届いた対応ができるものではありませんが、必要なときには必要なことを実施していくことは、常に考えていきたいと思っております。	-	市長公室